

～ こだいらの **未来** のための計画～  
**小平市第四次長期総合計画**  
**策定状況 ニュースレター**

**第21号**  
 (令和3年3月)  
 ※不定期発行

小平市では現在、新たな「長期総合計画」の策定に取り組んでいます。策定状況や取組について、広く市民の皆様にお知らせするため、不定期でニュースレターを発行しています。

**小平市立中学校で出前授業を実施しました。**

小平市第四次長期総合計画は、「小平市自治基本条例」に基づき、小平市が目指すまちの姿を定めた計画で、様々な社会情勢の大きな変化が予想される中、将来にわたって持続可能な社会を構築し、より魅力あるまちをつくるため、進む方向性を示しています。目指すまちの姿の実現のためには、地域社会全体で計画を共有し協働することが重要となります。

こうしたことから、地域社会の一員である中学生の皆さんとも計画について共有を図るため、令和3年2月と3月にかけて、小平第三中学校3年生5クラス、小平第四中学校1年生6クラス、小平第六中学校3年生4クラスの生徒の皆さんを対象に出前授業を行いました。

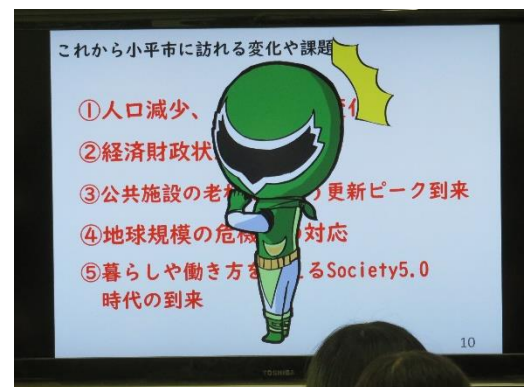
授業では、市の担当から第四次長期総合計画の説明をしたのちに、取組の方向性で示している取組の視点の中から各自が気になる視点や重要だと思う視点を3つ選び、その理由等についてワークシートに記入しました。多種多様な意見を出していただきました。その中から抜粋して紹介します。

■出前授業ワークシートより

選んだ視点	選んだ理由
基本目標Ⅰで示している「若者の活躍を支援」	私たちがもっともっと活躍していけば、少子高齢化でも乗り切れると思ったから。
基本目標Ⅱで示している「国籍や人種を問わず住みよい地域づくり」	グローバル化が進む現代において、様々な人にとって住みやすい環境にすることは必要だと思う。私も異文化理解を深めていこうと思う。
基本目標Ⅲで示している「水や緑、生きものとの共生」	環境を変えて緑や生きものを失うのは一瞬だが、環境を戻すにはとても時間がかかるから。

授業終了後のアンケートより「授業で印象に残ったことは？」

- 小平市も人口減少の傾向になるということを知り、頭ではわかっていましたが、とても驚きました。
- 少子高齢化が進む中で、私たち若者にもできることがまだまだたくさんあることを知ることができた。また、18歳になったら政治について興味を持って参加できるようにしたいと思った。
- 小平をつくり続けるのは私たちだとわかったこと。小平を大切にすることは、地球を良くすることにつながるとうわかったこと。
- 小平市の未来を大人だけで考えるのではなく、小中高大の学生の意見も考えてくれていると知ったこと。



説明用スライド



小平第三中学校



小平第四中学校



小平第六中学校

## 市民活動団体との意見交換を開催しました。

令和3年3月5日に、市民活動団体あすびあに登録されている団体に所属されている皆様と、意見交換を行いました。

市の担当から第四次長期総合計画の説明をしたのちに、2グループに分かれて、取組の方向性として示している基本目標横断プロジェクトの「新たな地域拠点とコミュニティの創出」を中心に意見を出していただきました。

それぞれが活動している団体としての立場や、自分自身の周囲の環境なども踏まえたご意見があり、その一部を紹介します。

### 意見の抜粋

- 戦後、コミュニティが失われていった。多世代交流などの場ができると良い。
- 防災の観点でも、地域のつながりが大切。
- 昔は自治会が機能していたが、今は違うので、新しいかたちが必要かもしれない。
- 既存の施設との連携なども考えられるのでは。
- 国立精神・神経医療研究センターは、小平市の特色の1つである。
- 新たな地域拠点は、場所だけではだめ。若い人は、興味があってもきっかけがないと入りにくい。
- 「新しい地域拠点」とは、場所だけをいうものではない。若い人たち、若い子育て世代が参加する、あるいは参加できる拠点は、長期レンジで作っていくしかない。



### 基本構想の体系

つながり、共に創るまち  
こだいら

#### 基本目標Ⅰ ひとづくり 人が育ち、学び、新たな価値を創造するまち

- 方針1 全ての子どもの育ちと自立を支援する（子育て支援、学校教育、若者活躍）
- 方針2 全世代が元気にはつらつと過ごす（健康づくり、スポーツ、生涯の学び）
- 方針3 まちの誇りを受け継ぎ、発展させる（歴史、文化芸術）

#### 基本目標Ⅱ 暮らしづくり 多様性を認めあい、つながり、共生するまち

- 方針4 お互いに尊重し、活躍できる社会の実現（男女共同参画、障がい者支援、多文化共生）
- 方針5 地域の絆で支えあう（介護、保健福祉、生活支援）
- 方針6 誰もが安心と生きがいを持つ地域づくり（地域コミュニティ、安全・安心）

#### 基本目標Ⅲ まちづくり 自然と調和した、美しく快適で、魅力あるまち

- 方針7 水や緑を保全・創出し、環境にやさしい循環共生型の社会を形成する（緑、環境、資源循環）
- 方針8 安全安心で快適な、住みやすいまちを形成する（市街地整備、道路、交通）
- 方針9 地域資源をいかし、活力と交流を生み出す（商工業、都市農業、観光）

#### 自治体経営方針

- 地域資源によるサービスの実現
- 将来に向けた財産運営・財産活用
- 運営・業務執行体制の効率化
- 職員と職場の活性化



小平市が目指す12年後の将来像を「つながり、共に創るまち こだいら」と定め、3つの基本目標に沿って取組を展開します。3つの基本目標に沿って着実に進めるために必要となる考え方やとるべき姿勢（参加・協働・自治の取組や行政内部の仕組み）を、自治体経営方針として示します。基本目標横断プロジェクトは、小平市第四次長期総合計画の12年間を持続可能な社会を構築していくための基盤づくりの期間として捉え、基本目標である「ひとづくり」、「暮らしづくり」、「まちづくり」と「自治体経営方針」を横断して取り組んでいく内容です。

#### 基本目標横断プロジェクト1

自助・共助・公助により防災・減災を強化

#### 基本目標横断プロジェクト2

新たな地域拠点とコミュニティの創出

お知らせ

### 小平市第四次長期総合計画策定記念シンポジウムを開催します！

津田塾大学高橋学長による基調講演、小平市長を含む5名によるパネルディスカッションを行います。

とき 令和3年3月20日 土曜 午後3時から4時20分

ところ ルネこだいら(中ホール)※2時30分開場

申込 当日会場 ※先着150名まで

その他 手話通訳あります。

手指消毒、マスクの着用など、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにご協力をお願いします。

#### 【問合せ先】

小平市企画政策部政策課  
総合計画担当

電話：042-346-9503

FAX：042-346-9513